

KANAGAWA



一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2013 年
9 月号

VOL.383



オフィシャルウェブサイト (会員ページ) 情報

○会報KANAGAWAをフルカラーにて
掲載中

○会員ページへは会員番号でログイン
してください



目 次

①② 建物探訪

③ 平成25年度建築士事務所全国大会（三重大会）に参加して

④ 伊勢神宮式年遷宮行事「お白石持行事」に参加して
調査鑑定研修会開催報告

⑤ 景観勉強会開催報告
支部だより（鎌倉支部）

⑥ 支部だより（横浜支部）

表4 事務局便り
編集後記

建築探訪

薬師寺東塔修復現場見学

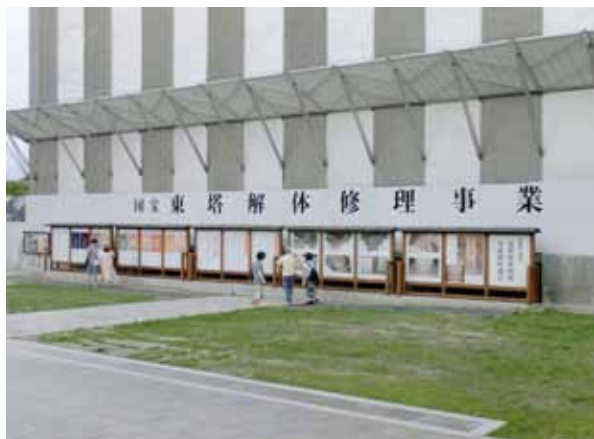
川崎支部 おんだ建築事務所
恩田 耕爾

逝く秋の やまとのくにの 薬師寺の
塔のうえなる ひとひらの雲 (佐佐木信綱)

薬師寺は南都六宗の法相宗の大本山であり、天武天皇がお妃(後の持統天皇)の病氣平癒を祈念して発願(680年)し、その後697年持統天皇が本尊開眼されて完成させ、その後、平城遷都に伴い藤原京から現在の「西の京」(平城京の朱雀大路の右半分の意)に移されました。

国宝薬師寺東塔は薬師寺境内で唯一創建時の姿を伝えています。明治の修理から時間が経過したことにより建物の劣化がひどく、平成24年9月より奈良県文化財保存事務所による東塔の解体修理が行なわれています。

1



修復工事に関連した写真パネル

今回の「薬師寺東塔修復現場見学会」は神奈川県で古民家調査を行っているメンバー等4人で企画実行しました。男性と女性は半々で民間確認機関からの参加1名、あとは都内の大手設計事務所、神奈川の設計事務所からそれぞれ1名、それと云いだしっぺの小職といった顔ぶれです。

近鉄「西の京」駅に集合して、薬師寺へと向かいました。昔、学生時代に京都修学院離宮の見学後、冬休みの期間に高田好胤管長の塔頭である法光院にお世話になって以来2度目の訪問

となりました。事前に事務所にて概要の説明を受けてから境内に入ります。伽藍は金堂、西塔、中門、回廊、講堂と順次新しくなっているようでしたが、僧房や塀は当時のままで、特に土塀はかなり朽ち落ちていて土が雨によって地面に流れていたり、塀の上の瓦も欠けたりずれたりの状態を目を引きました。



いつか土壁の修復も…

薬師寺は檀家を持たない寺院ですので、今回の東塔修復工事費27億円などの伽藍修復費用を捻出するために、薬師寺第二百二十四世管主高田好胤が創案したユニークな方法「写経勧進」(現在は「お写経勧進による白鳳伽藍復興」事業として受け継がれている)が行われています。

東塔は奈良時代、天平2年(730年)に建立され、柱間7.1m、裳階10.5m、総高34.1m、天女が地上に舞い降りる姿の水煙を含んだ相輪高10.3mとなっており、近辺では最も高い建物のため上の瓦屋根からは奈良盆地が一望されます(学生時代塔内掃除時の屋根からの記憶ではありますが…)。また、屋根が6層あるので六重の塔のように見えますが階の間に裳階が入るため実際は三重塔です。



瓦が下された屋根の様子

修復にあたり最上階から瓦屋根を剥がし、7月初旬に心柱が外されたとのことです（7月10日日経夕刊）。東塔の心柱は2本が添え柱と和釘（和銅）とでつながれていて、この上部分が外されました。最上階の瓦屋根を下ろし、瓦と土の総重量200トンが軽減された時、1階の屋根部分が5cm上空に持ち上がったようで、構造の木材が今でも役目を果たしていることが証明されたこととなります。

仮設の鉄骨仮囲い建屋（竹中施工）が奈良の盆地において異彩を放っていてとても目立ちます。実際の工事は奈良の大工（すべて公務員）さん20名弱が各階に分かれて解体作業を行っていて、完成は平成30年7月の予定となっています。



無骨な建屋が外される日が待ち遠しい

明治の頃、東洋美術史家のフェノロサが白壁の東塔を「凍れる音楽」と表現したり、万葉歌人が「青丹（あおに）よし 奈良の都は咲く花の薫（にお）うがごとく いま盛りなり」と歌ったりしていますが、建屋が外され修復された東塔が姿を現した時にどのような彩色を施されているのかも興味の尽きないところです。

最後に。薬師寺を訪ねる前日には「塔博士」と呼ばれる内藤多仲設計の「通天閣」の見学をし、今回の旅はその他にも「長谷寺五重塔」、「室生寺五重塔」と塔続きで、塔に思いを馳せる行程となりました。



東塔の戻りを待つ西塔（青丹と白の3色）

薬師寺の東塔と西塔の2塔の伽藍配置は日本で初めてのことのようです。薬師如来の健康祈願だけでなく2塔は天武天皇と持統天皇の愛の象徴の様でもあり、そんなことも思いながら訪れると感慨深いものがあります。また、心柱の考え方が現代のスカイツリーに受け継がれていて、構造家には興味の尽きないところでありました。

参考：境内設置の工事概要説明及び写真パネル
（一部写真は上記を撮影したものです）

表紙のこぼれ

表紙写真（大）は、薬師寺金堂です。1528年に戦火で焼け落ちた後、様々な事情で400年近く仮堂であったものが昭和51年（1976年）4月に復興されました。

平成25年度建築士事務所全国大会 (三重大会) に参加して



味のある照明



せんぐう館 (栗生明設計)



海の博物館 (内藤廣設計)



鏡開き



氷の彫刻



早餅つき

横須賀支部 株式会社アスデック建築事務所 小泉 厚

8月9日、名古屋地方の予想最高気温38℃という猛暑の中、小川名誉会長を筆頭に、横須賀支部6人の会員とともに全国大会に初参加をさせていただきました。伊勢市駅で湘南三浦支部と合流し、まずは昼食。参道沿いのいかにも時代を感じさせる店に入ってみると、そこは過去の繁栄を垣間見るきめ細かい職人芸のインテリア。伊勢への無事到着と店の雰囲気「まず乾杯」。そして鰻と伊勢うどんを食して「また乾杯」。

支部としては今回、三重大会参加に合わせて①伊勢神宮参拝②2人の同世代の建築家の作品見学(栗生明設計「せんぐう館」と内藤廣設計「海の博物館」)③商人の屋敷や武家屋敷が残る松阪市のまち並見学を行い、良いものを見ることで各々が考え感動する良い研修の機会を得ることができました。

全国大会は滞りなく進み、三重県知事の「伊勢神宮を見てブルーノ・タウトは稲妻が走る思いがした」という話では「確かに」と改めて思い、神奈川会からは佐藤光良氏が年次功労者表彰を受けられました。式典最後に第39回開催地の茨城県が紹介され、茨城会の横須賀会長から発表された「復興の喜び」という大会テーマが強く印象に残りました。その後三重の食を楽しむ記念パーティーへと移動。樽酒による乾杯のあと、松阪牛、地元の海産物、郷土料理が振舞われるなか、氷の内部に花を彫刻するアトラクションや地元郷土芸能の恵利原早餅つきが行われ、三重会の厚いおもてなしに、外の暑さも忘れ、あっという間にお開きとなりました。

鎌倉支部 有限会社清田育男計画設計工房 清田 鈴美子

「建築士事務所全国大会に参加してみない？女性少ないし…」と支部の先輩から誘われたことから今回の「旅」は始まりました。神事協に入会してまだ日の浅い弊社でしたが今期は支部会計を引き受け、支部活動にもう少し積極的に参加しようと思う気持ち、また私が伊勢神宮を今まで訪れたことがなく20年に1度の式年遷宮に遭遇できるということもあり参加を決めました。

快晴、暑くなりそうな予感の中、藤沢、茅ヶ崎寒川支部の皆さんとチャーターバスで出発、途中の関サービスエリアで松坂牛のすきやきを堪能！(グラム数はご想像にお任せいたします…) 高速道路の渋滞もあり大変な道のりではありましたが、栗生氏の記念講演『建築の原点・祈りと喜び』から参加することができました。

大会記念式典では建築に携わるものが集まる光景に改めて私たちが担う使命の大きさ、会の繋がりを感じることができ、各单位会紹介で「神奈川会」と呼ばれた際に皆で手を振った連帯感は素敵なものでした。

次の日は朝から夫婦岩、外宮、内宮へ。内宮は丁度お白石持行事の真っ最中、大変な賑わいで、唯一神明造のいにしえからの姿、それが伝承されていく技術力、緊張感のある外宮、内宮の空間体験もとても貴重なものでした。加えて他支部の会員の方々との親睦、伊勢の美味しいものも堪能でき、内容も気温も「アツイ」伊勢路の旅はこうして幕を閉じたのでした。

…いやあ、しかしホントに暑かった！

伊勢神宮式年遷宮「お白石持行事」に参加して ～繋がる思い～

川崎支部 有限会社五十嵐建築設計事務所 五十嵐 摩利

8月9日伊勢市駅のホームに降り立つと、関東では感じられない程の熱気に包まれました。街に出ると更にアスファルトの照り返しが加わり、体感温度は40度ぐらいに感じられ、早々にクーラーの効いた近くのお店に入る事にしました。

今日のお白石持では、十数名の方が救急車で運ばれたとの話を聞き不安が過りましたが、20年に1度の伊勢神宮式年遷宮に伴うお白石持行事に参加出来る事の嬉しさの方が大きく、明朝は早いので寝過ぎないようにと、2次会も早々にお開きにして寝ることにしました。

8月10日、私たち事務所協会は内宮領の特別領民奉曳に参加させて頂きました。一台の奉曳車を多団体で曳くのが通常だそうですが、事務所協会は一団体で曳けるほど多くの方々に参加されたそうです。

地元の方により木遣りが歌われ、采<ざい>を

片手に持った木遣り隊のエンヤーという掛け声に続き皆もエンヤーという掛け声を掛け、奉曳車に結ばれた2本の白い綱を曳いて行きます。沿道にいるお店の方、看護師さん、警察官の方や地元の方々に温かく見守られながら、おはらい町を宇治橋へと曳いていきました。

宇治橋からは、ひとりひとりが新宮までお白石を白布で包んで運びます。ご神体が遷され、天皇陛下しか参拝できない新しい正殿に近づき、内宮お敷地内にお白石を置きました。

おはらい町の古い町並みを眺めながら、石畳を奉曳しているうちに不思議な気持ちに駆られました。私たちが生まれる前にこの地を訪れた多くの人たちの思いと、今生きてここに集まった私たちの思いが重なった様な気がしたのです。私たちは目に見えない大きな力に包まれているのかもしれません。（最終頁に写真掲載）

4

7月26日開催 調査鑑定研修会に参加して

厚木支部 吉川設計一級建築士事務所 鈴木 里枝

まずは先日の研修会に参加させていただいた事へのお礼を申し上げます。

私は大学卒業後、現在の事務所に入社して3年目になる駆け出しの社会人です。建築業界に関して無知なところが多い私に対して、根気強くご指導下さり、また勉強のためと様々な研修会や講習会に出向かせて下さる所長には、毎度感謝の気持ちばかりです。今回の研修会は、所長の代理という形での出席でありましたが、自分にとっても実りのある、充実した研修会でした。

クライアントとのトラブルは、依頼を受けた側にとって一番意識すべき懸念事項の一つだと思います。職務の怠りに対してクライアントは敏感でしょうし、逆に誠心誠意取り組んでいても、相互間の考えのズレがあることで問題に発展する場合もあるのではないのでしょうか。今研修会中、挙げられた代表例に対して問題の真

意を明らかにしようと、参加されていた方々より活発な議論が繰り広げられておりましたし、その議論やパネラーの方々の意見に対して、成程と強く感じました。けれどもどちらが悪いという話よりも、代表例を読み込んでいると、会社側の仕事に対するクライアントの不満や、両者の意思疎通が適っていなかったのではないだろうかと感じる部分も多々ありました。

一つ一つの問題の解決は、一視点からでは明らかに出来るものではないと思います。そして今後、自分がこのような問題に遭遇することも無いとは言い切れません。そうってしまった時、堂々と自分の意見を述べられるよう、一杯真摯に仕事に向き合おうと改めて意識させてもらえる研修会だったと思います。ありがとうございました。

「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり4」

“景観整備機構と建築士の役割”勉強会に参加して

横浜支部 有限会社基設計事務所 廿日出 頼秀

7月24日の勉強会は、塩見寛氏（静岡県建築士会景観整備機構副代表）による講演でした。

第1部は、景観整備機構としての活動実績について…冒頭に、印象的な問いかけが3つありました。

- ① なぜ景観はよくしなければいけないのですか？
- ② なぜいま景観なのですか？（景観の事より、防災や福祉をよくして欲しい。生活の安全第一を目指してほしいのが、普通の人の気持ちです。）
- ③ 景観を壊してきたのは建築士ではないのですか？（個々の建物が全体として景観を壊している。景観云々を言うならこの問題を何とかしてほしい）

上記の質問は、実際によく問いかけられている質問だと思います。どのように回答をすればいいのか、正解はないのか…自分なりによく考えて、正解を見つけていきたいと思いました。

第2部は、行政・専門家・住民の役割・連携について…第3部は、景観整備機構の立ち上げ方について…以上、3部のお話でしたが、とても内容が充実しており時間が短く感じられました。

講演後は、A・B・Cの3班に分かれてのワークショップが始まりました。

A班「景観まちづくりの目標や考え」B班「良好な景観づくりのルールや基準」C班「景観まちづくりを実現するために」、のテーマについてディスカッションを行い、活発な意見が交わされました。約1時間で意見を集約し、5分で発表するというタイトな時間割ではありましたが、無駄がなく有意義に感じました。

この勉強会に参加して、景観整備機構は実際に事業を受注・実践し、人材の養成・専門家の育成をしていく時期が目前に来たのではないかと強く感じました。

5

支部だより 鎌倉支部MK邸設計提案競技概要

鎌倉支部長 梅澤 典雄

ある市民イベントの会場で「自宅を鎌倉の環境や生活を理解した設計士に依頼したいがどうすればよいか。」というご相談をご夫婦とお子さん2人の4人家族であり、鎌倉を代表する企業の役員でインテリアデザイナーとしての経歴をお持ちのMKさんから受けました。

我々は支部主催の設計競技を行うことを提案し、快諾を得て事務局と審査委員会を発足させました。

敷地は古都法の規制のかかる谷戸の美しい住宅地で祖母が住む和風の母屋があり、その手入れの行き届いた庭の一部を分割して建てるというものでした。条件は家族4人と犬が暮らすこと。ただし、建て主が現在イメージしている条件を提示しますが、これにこだわらず住まい方を含め提案するという内容でした。

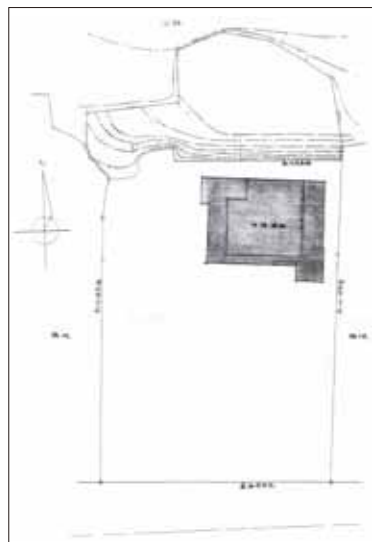
応募締め切りは4月30日。会員12名と建て主紹介の1名が応募、提出物はA3で数枚、表現内容は

自由、ただし「量と製作費」は評価外としました。審査委員会で、①計画の合理性、②周辺環境・まち並への配慮、③祖母の家との関係、④庭との調和、⑤美しさ、⑥独創性、⑦実現性、⑧省エネ、省資源への配慮、の8項目で厳密に採点しました。

その結果、5名を2次選考の対象者に特定しました。

果たして結果は…？

次号へと続きます。



配置図

支部だより 「豊かな暮らしと住まいのデザイン相談室」 開設

横浜支部 有限会社エム設計 森 雄治

横浜支部では、7月24日に「豊かな暮らしと住まいのデザイン相談室」を「マークイズみなとみらい」4階、東京ガスショールーム「くらしのライブラリー」内に開設し、相談業務を開始しました。この「マークイズみなとみらい」は、みなとみらい駅に直結し、改札口を出るとすぐに入口があるという大変至便な場所に位置している商業施設です。



「くらしのライブラリー」エントランス

相談室は毎週水曜日10時30分から16時30分まで開かれていて、横浜支部の相談員が2人で対応、住まいのことならどんなご相談であっても建築の専門家の立場でアドバイスをします（無料相談・相談時間は1件につき40分程度）。年内いっぱいの開設を予定しています。

初日の相談員は午前中が小渡支部長、古居副支部長。午後が小渡支部長と清水さんが担当され、午後には磯田監事が相談員の激励に駆けつけられました。また、窓口には「住・緑・家」、セカンド Opiniオンやマンション等大規模修繕のパンフレットも置かれ、神事協のPRにも一役買っていました。

私の取材中には、お2人が相談にお越しになりました。ご相談はそれぞれ、光触媒を使用した外壁リフォームについてのご心配ごとや軽量鉄骨の2世帯住宅の2階に浴室を増築又は改修し設けたいという内容でいずれも相談員が的確かつ丁寧な対応でアドバイスをされていて、相談窓口の必要性を感じることができました。また、相談



相談風景

相談室は毎週水曜日10時30分から16時30分まで開かれていて、横浜支部の相談員が2人で対応、

住まいのことならどんなご相談であっても建築の専門家の立場でアドバイスをします（無料相談・相談時間は1件につき40分程度）。年内いっぱいの開設を予定しています。初日の相談員は午前中が小渡支部長、古居副支部長。午後が小渡支部長と清水さんが担当され、午後には磯田監事が相談員の激励に駆けつけられました。また、窓口には「住・緑・家」、セカンド Opiniオンやマンション等大規模修繕のパンフレットも置かれ、神事協のPRにも一役買っていました。私の取材中には、お2人が相談にお越しになりました。ご相談はそれぞれ、光触媒を使用した外壁リフォームについてのご心配ごとや軽量鉄骨の2世帯住宅の2階に浴室を増築又は改修し設けたいという内容でいずれも相談員が的確かつ丁寧な対応でアドバイスをされていて、相談窓口の必要性を感じることができました。また、相談室を設置させていただいている東京ガスショールームには、住まい生活のエネルギーに関するほとんどのア

イテムが揃っていると言っても過言ではなく、ご相談内容によっては非常に参考になる貴重なスペースであると思います。

横浜支部としては今後、横浜市住生活基本計画理念『ひと・すまい・くらしつながり、活力と魅力あふれる持続可能なまち よこはま』の達成のために、各種パンフレット等はこの理念を掲載し一般の皆様にも周知を図ることと市の後援を得た市民向け講演会を企画して行くことを考えています。また、私たち建築の専門家である一級建築士や専攻建築士、C A S B E E 評価員、福祉住環境コーディネーター、インテリアプランナー、マンションアドバイザー、耐震改修実務経験者等々資格を有するスペシャリストが皆様のお役にたてるよう、また神事協のキャンペーンとしてこの活動を広げていきたいと思っています。

最後に、筆者は取材時に初めて「マークイズみなとみらい」を訪れましたが、交通の便利さは言うに及ばず、施設内部も充実していました。特に至る所にベンチやソファあるいは休憩コーナーをしつらえており、冷房もちょうどよく、過ごしやすい空間となっていて、そのためか平日にも関わらず、ベビーカーを押したママや、家族連れ、カップル、若者、年配の方々等々たくさんの方で賑わっていました。また、トイレの斬新なデザインは、これからの仕事の参考にもなりました。

相談員の皆様にとっては大変な活動であると思いますが、頑張ってくださいと思っています。そして、お近くの方やお知り合いの方はぜひ相談室を訪れていただき、皆様のご協力ですらに活動の輪が広がっていくことを願っています。

最後に私事になりますが、筆者は神事協に入会してまだ5年弱で、本会の活動にもほとんど参加していませんでした。しかし、このたび広報情報委員会に参加することになり、他支部から来られている委員の皆さんと交流をしていく中でいろいろ参考になること、勉強になることが多く有意義に感じています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

会員異動報告

入会

横浜支部

株式会社アトリエ素粒子一級建築士事務所 稲葉 貴教
〒230-0071 横浜市鶴見区駒岡4-22-27
TEL.045-718-5220 FAX.045-718-5302

退会

川崎支部

株式会社リッチライフ一級建築士事務所 石田 薫

湘南三浦支部

菅原建築設計事務所 菅原 定男

変更

川崎支部

アークフォレスト二級建築士事務所
(FAX変更)
FAX.03-6300-7972

相模原支部

株式会社神奈川確認検査機関
(所在地・TEL・FAX変更)
〒252-0303 相模原市南区相模大野3-3-1-501
TEL.042-767-5972 FAX.042-767-5883

賛助会異動報告

入会

柳田建設株式会社
〒252-0324 相模原市南区相武台1-10-16-202
TEL046-254-7357 FAX046-264-1819
【代表者】柳田 政治 【担当】柳田 政憲
【業種】土木一式、Hyspeed工法による地盤改良

【今月号のベストショット】



伊勢神宮式年遷宮行事「お白石持ち行事」

【お知らせ】…新体制により、誌面構成の見直しを行っております。

かながわ 平成25年9月号（通号383号）

発行 平成25年9月1日（毎月1日発行）
発行人 小林 忠志
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

会 勢

		平成25年9月1日現在			
支部名	平成25年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	251	252	8	7	1
川 崎	101	106	7	2	5
横 須 賀	54	51	0	3	-3
湘 南 三 浦	18	18	2	2	0
藤 沢	25	24	0	1	-1
鎌 倉	39	37	0	2	-2
茅ヶ崎寒川	19	19	0	0	0
平 塚	23	23	1	1	0
秦 野	18	18	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
大和綾瀬	21	20	0	0	0
厚 木	35	35	0	1	-1
座 間	12	12	0	0	0
海 老 名	15	15	0	0	0
愛 川	8	8	0	0	0
相 模 原	82	81	1	2	-1
県 西	48	49	1	0	1
合 計	777	776	20	21	-1
賛助会員	79	79	4	2	2

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

9月の行事予定

9月5日	総財務委員会
9日	業務支援委員会
10日	「住・緑・家」運営専門委員会 法制委員会
11日	指導委員会
16日	正副会長会 理事会
18日	JW-CAD講習会(木造編) 会場:東部総合職業技術校 建築物耐震改修評価特別委員会
19日	耐力壁計算およびN値の計算方法について勉強会 会場:神事協会議室 木造専門委員会 構造専門委員会
20日	新規開設建築士事務所講習会 会場:神事協会議室
25日	JW-CAD講習会(木造編) 会場:東部総合職業技術校 建築物耐震改修評価特別委員会
27日	管理建築士講習 会場:神事協会議室
30日	景観・まちづくり専門委員会

編集後記

事務所開設から2年、事務所協会に入会させていただいてからは約1年が経ちました。さまざまな季節をすごし、いろいろな方々と出会い、充実した日々を楽しく過ごさせていただいています。昨年お電話があり「広報情報委員をやりませんか？」というお誘いがあり、ヒヨコのような新参者がそのような大役をこなせるのだろうかと心配しつつも、今年から広報情報委員をやらせていただくこととなりました。いつになっても新しいことを楽しんで挑戦できるような人でありたいです。みなさま、どうぞよろしくお願い申し上げます。（鎌倉支部 棚橋由佳）

本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載をしております。神事協としての見解ではございませんのでご了承下さい。

：担 当 副 会 長 芝 京子
：広 報 情 報 委 員 長 白 川 正孝
：広 報 情 報 副 委 員 長 宮 寺 透雄
：広 報 情 報 委 員 森 雄治 小泉 厚
： 棚 橋 由佳 恩田 耕爾
： 坪 井 教一 新倉 良一
： 坂 本 歩美 杉本 勝郎
： 事 務 局
： 事 務 局